

○現状分析 (学力調査等の結果を踏まえた内容別・観点別の分析表)

2年		平均正答率		分析
		本校	都	
社会		48.8	50.9	本校の平均正答率は、都の平均値に比べ約2ポイントほど低い。知識・理解の観点は、約1ポイントほど上回っているが思考・表現・技能の観点においては、約3ポイントほど下回っている。以上のことから教科書やワークに太文字で記載されているようなキーワードは、積極的に学習し定着しているのに対して、資料からの読み取り問題や文章を読解して考察し解答する問題は苦手としている傾向がうかがえる。しかし、今回の問題は記述ではなく記号で解答する内容だったので正答できた生徒も多いように思える。日頃の授業内でも積極的に文章を書かせ、発表させ弱点の克服を図る必要がある。
観点別正答率	関心・意欲	---	---	
	思考・表現	45.4	48.5	
	技能	58.2	61.5	
		知識・理解	42.1	40.9

3年		平均正答率		分析
		本校	区	
社会		55.2	55.5	平均正答率・観点別正答率とも区全体の正答率と同程度である。社会的事象への関心・意欲・態度と資料活用の技能は1.8～2ポイント高い。ただし、知識・理解の観点では、1.5ポイント下回っており課題と考えられる。一方で、基礎と活用に分けた観点では、活用面の思考・判断力は区平均の46.9を2.4ポイント上回って49.3ポイントであった。以上のことから、これまでのノート作りなど一定の成果はあり、社会科に対する意欲も高まっている。また、自己の意見や考えを答える問題にも取り組むようになってきたが、一方で重要な用語について覚えられていないものも多く、知識全体の底上げが必要である。今後、繰り返し学習することで内容の定着を一層図る必要がある。
観点別正答率	関心・意欲	58.1	56.3	
	思考・表現	49.8	49.8	
	技能	58.7	56.7	
		知識・理解	55.7	57.2

○指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導計画
1年	<ul style="list-style-type: none"> 教科に対する生徒の興味・関心は概ね高いが内容への理解度が低い生徒も多く見受けられる。 資料の要点をつかませ、基本的な事項を理解する能力を養う必要がある。 一部の生徒は、小学校で学習しているはずの社会科の知識が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心を高める視覚的資料教材の準備を行い、丁寧に解説して理解を深めさせる。 ワークシートを使い小学校の復習や知識の再確認をさせて定着を図る。 グループ内で授業の要点の話し合いを行わせ、生徒が主体的に取り組む能力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理の授業では地図帳を活用し、地図や統計資料を使いこなせるようにする。 白地図方式のプリントや問題集を単元の節目に記入させるなど、効果的に使い、書き込みを繰り返し行い、知識の定着を図る。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見付け、主体的に解決できる力を育成する必要がある。 資料を分析し読み取る力が不足している生徒が多い。 年表を活用して、時代ごとの大きな流れをとらえる力を育成する必要がある。 一年生の内容も振り返り、定着を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書などから資料を提示し活用させ、時代や地域を大観できるようにする。 ワークシートなどにも資料を載せ、自分で資料を読み取り、そこからわかることを話合わせ、表現させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料などの写真や図をただ見せるのではなく、そこから何が読みとれるのかを丁寧に考えさせ、発表させることで他人の意見などを聞いてさらに思考力を高めさせる。 時事問題に興味・関心をもたせ自分の意見を伝える機会を作り思考力・表現力を育てる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 社会で起きている出来事に関する興味や関心を高める必要がある。 世界的な活動やグローバルな視点で物事をとらえる力を育てる必要がある。 3年間のまとめ問題集など、問題に取り組む時間を授業内でも確保するとともに、家庭学習課題等として提出をさせるなどして、基礎学力の定着を一層図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 模擬選挙を実施したり、人権講話の話を聞いたりして自分の身の回りで起きている出来事と公民的分野の内容との関連を捉えさせる。 国際的なニュースや時事的な内容を題材として課題について考察した内容をグループごとに発表させる学習を通して、言語活動の充実を図る。 I C T機器を活用し、資料の読み取りの力を高める。また、動画を用いて基礎的な知識・重要用語について繰り返し触れることで定着を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 時事問題を取り上げたワークシートを作成し、発表活動などを行い、発表する態度や聴く態度を育てる。 新聞の時事欄や株価の欄から経済の流れを読み取る作業を行わせ、現代社会や実生活との関連を図る。 補充教室を実施し、理解の深化を図る。